

I 市の沿革と誕生の経緯

〈ご注意〉

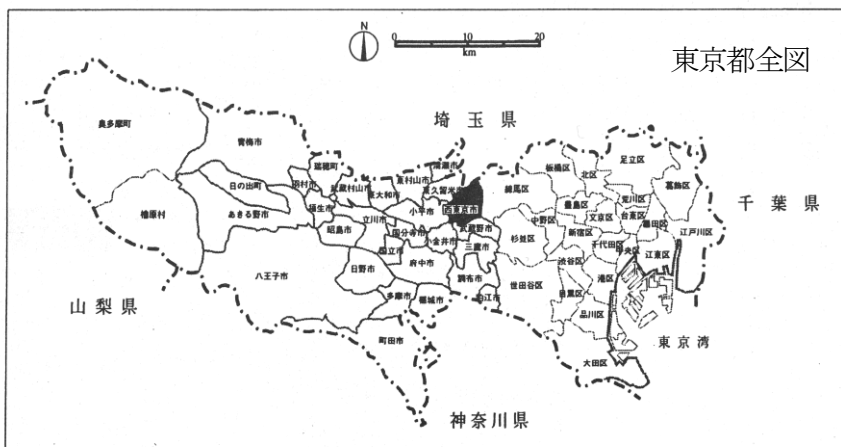
各指標において、特に時点の注釈がないものについては、平成30年12月末日現在を基準として作成しています。

また、数字の単位未満は、四捨五入を原則としています。したがって、合計の数字と内訳の計とが一致しない場合があります。

1 西東京市の沿革

西東京市は、武蔵野台地のほぼ中央にあって、東京都の西北部に位置し、東側は練馬区に、南側は武蔵野市と小金井市に、西側は小平市と東久留米市に隣接する、東西に4.8 km、南北に5.6 km、面積15.75 km²の都市である。

旧青梅街道の宿場町として栄えた歴史的な経緯もあり、16 km²に満たない市域に旧青梅街道、新青梅街道、所沢街道、五日市街道がそれぞれ東西方向に走る交通の要衝となっている。また、鉄道においても、市域の北側を西武池袋線が、南側を西武新宿線がそれぞれ東西方向に走り、市域内に5つの駅を擁している。新宿あるいは池袋まで急行で20分を要しない至便の位置にあることから、早くから都心部のベッドタウンとして発展してきた。武蔵野の面影を色濃く残し、東京23区に隣接する地域としては比較的多くの緑地が存在するが、急速に宅地化が進んだため街路が入り組み、また、道幅も狭いなど、都市基盤分野における課題も残されている。今後は、これらの解消による調和のとれた発展と良好で魅力ある住環境の整備が期待されることである。



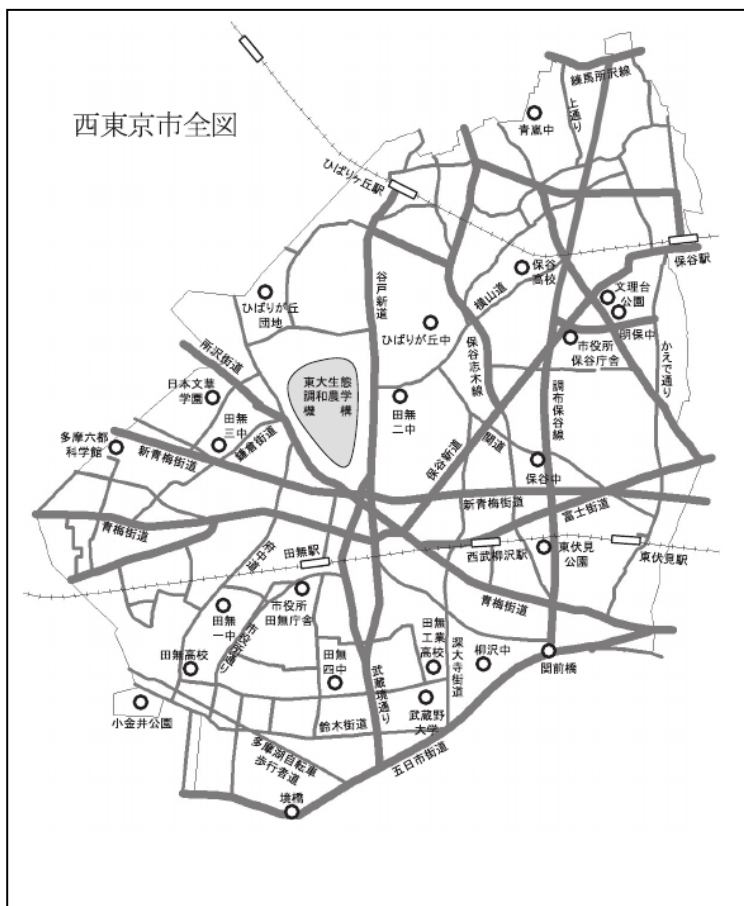
市の概況 (平成30年4月1日現在)

| | | |
|------|---------------------------------------|-----------|
| 人口 | 男 | 98,156 人 |
| | 女 | 103,136 人 |
| | 合計 | 201,292 人 |
| 世帯数 | 96,266 世帯 | |
| 面積 | 15.75 km ² | |
| 市制施行 | 平成13年1月21日 | |
| 都市形態 | 住宅都市 | |
| 姉妹都市 | 福島県南会津郡下郷町 | |
| 友好都市 | 千葉県勝浦市 山梨県北杜市 (旧須玉町 16.11.1 合併) | |

市役所の位置

| | | |
|------|----------------|--------------|
| 田無庁舎 | 西東京市南町五丁目6番13号 | |
| | 北緯 | 35度43分32.7秒 |
| | 東経 | 139度32分18.5秒 |
| 保谷庁舎 | 西東京市中町一丁目5番1号 | |
| | 北緯 | 35度44分29.6秒 |
| | 東経 | 139度33分32.5秒 |

※世界測地系版数値地図25,000地名、公共施設による。



2 西東京市誕生の経緯

(1) 旧両市の地形及び歴史

【田無市の歴史】

田無は江戸時代の宿場町、そして北多摩地区の人々の生活を支える商業の拠点として栄えてきた、古い歴史を誇るまちである。昭和に入ってから、鉄道の開通、相次ぐ工場の進出などにより活気を帯び、また新宿まで西武新宿線で約20分と交通の便にも恵まれ、戦後は公団住宅や都営住宅、民間住宅の建設が盛んに行われてきた。都市としての条件が整った昭和42年1月1日に市制施行、東京都で16番目、全国で563番目の市となった。当時の人口は52,284人であったが、平成13年1月21日の新市発足時点では77,737人となった。

【保谷市の歴史】

明治22年、上保谷新田、上保谷、下保谷の3カ村が合併して保谷村となり、現在とほぼ同じ区画をもつ農村地域として位置付けられ、昭和15年11月10日に人口15,200人で町制を施行した。その後、日本住宅公団（現独立行政法人都市再生機構）によって、昭和33年には柳沢、東伏見団地、翌34年にはひばりが丘団地が建設されて人口が急増し、昭和35年1月1日には43,678人となった。その後も民間の宅地造成が盛んに行われ、かつて農村地域であった保谷は住宅都市へと変貌し、昭和42年1月1日には人口77,169人で市制を施行するに至った。昭和46年以降人口の増加は鈍化した。平成13年1月21日の新市発足時点では101,962人となった。

(2) 合併までのあゆみ（年表）

| | | | |
|-------|---------------------------|-------|---|
| 平成2年 | | 平成12年 | |
| 3月 | 保谷市との合併について田無市長が前向き発言 | 4月 | 住民投票条例制定直接請求、両市議会で否決 (19日) |
| 平成5年 | | 5月 | 市民意向調査制度詳細を決定 |
| 1月 | 田無市との合併を公約に保谷市長当選 | 7月 | 市民説明会両市内(24カ所)で開催(2~26日) 投票方式による市民意向調査実施(30日) (両市で「賛成」多数、「西東京市」が最多得票) |
| 5月 | 両市議員30名により合併促進議員連盟設立 | 8月 | 第18回会議において正式な合併期日と新市の名称を確認 全ての協議を終了(3日) 合併協定調印式を挙行(10日) |
| 6月 | 保谷市議会議に合併問題調査特別委員会設置 | | 両市議会臨時会において両市合併関連議案を可決(11日) |
| 平成6年 | | | 東京都知事に合併申請書を提出(16日) |
| 6月 | 田無市議会議に合併検討特別委員会設置 | | 両市議会臨時会において合併関係補正予算を可決(22日) |
| 平成9年 | | 10月 | 東京都議会9月定例会で両市合併関連議案を可決(4日) |
| 9月 | 保谷市議会議で合併協議会設置を旨とする決議可決 | | 東京都知事が両市の廃置分合の処分決定、自治省に届け出(6日) |
| 11月 | 田無市議会議で合併協議会設置を旨とする決議可決 | 11月 | 官報に自治省告示(第250号)(17日) |
| 12月 | 両市合併協議会(任意)設立準備会設置 | 12月 | 両市議会定例会で町名の変更について議決、都知事へ届け出 |
| 平成10年 | | 平成13年 | |
| 2月 | 両市合併推進協議会(任意協議会)設置(16日) | 1月 | 田無市閉市式(14日) |
| 4月 | 合併推進協議会事務局を田無市に設置 | | 保谷市閉市式(18日) |
| 7月 | 新市将来構想策定委員会を設置 | | 新市発足・開庁式(21日) |
| 平成11年 | | 5月 | 西東京市開市式(25日) |
| 3月 | 新市将来構想中間まとめ集約 | | |
| 5月 | 新市将来構想中間まとめ市民説明会開催 | | |
| 7月 | 新市将来構想策定 | | |
| 9月 | 両市議会定例会で法定合併協議会設置を議決 | | |
| 10月 | 両市合併協議会(法定協議会)を設置(11日) | | |
| 11~ | 第2回会議で合併目標期日を「平成13年1月」に設定 | | |
| 12月 | 新市名を公募(11月1日~12月31日) | | |